

第59回豊島区図書館企画調整連絡会議

次 第

令和元年7月11日(木)
午後2時～
中央図書館5階会議室

1 議 題

(1) 里中満智子氏特別講演会及び展示について報告(資料1, 資料1-2)

(2) 書評講座募集チラシ(資料2)

(3) 地域研究ゼミナールについて(資料3)

(4) 宮崎滔天関連資料の展示について

①中央図書館展示

目 的：地域資料コーナーの魅力発信、イベント告知

日 時：令和元年9月28日(土)～10月24日(木)

場 所：4階地域資料コーナー

内 容：貸出図書15冊程度、タイトルポップ、紹介ポップ

②参考資料：目白まちづくり倶楽部主催「宮崎滔天展」(資料4)

2 その他

(1) 第58回豊島区図書館企画調整連絡会議、会議録

(2) 「本を選ぶ」への掲載について(資料5)

(3) 次回日程について

10月第2週頃

令和元年度 特別講演会及び特別展示実施報告

1. 特別講演会

- タイトル 里中満智子氏特別講演会～日本のマンガはなぜ世界に広まったか～
講師 里中 満智子氏 (マンガ家)
日時 令和元年6月22日(土) 午後2時から3時30分
挨拶 高野之夫豊島区長
会場 あうるすぽっと会議室B、(講師控室 図書館会議室)
定員 100名、参加費 無料、手話通訳 有
募集期間 5月11日より受付開始～5月31日(消印有効)まで
募集方法 往復はがき(要件…図書館利用カード登録有効者)、定員超過の場合は抽選、6月初旬結果通知
申込人数 有効申込 104件(112名) 全員を当選とした
参加人数 123名 (来賓5名、区関係者 高野区長、管理職等12名出席)、手話通訳2名
職員体制 上記人数に含まず図書館課長、中央図書館と直営館から9名
その他 東アジア文化都市のテーマ曲「わたしは未来」を講演前に流した。
参加者の感想(別紙 資料1-2)

2. 展 示

- 期 間 令和元年5月25日(土)～7月25日(木)
場 所 中央図書館5階特集展示コーナー
展示物 里中満智子氏作品展示(借用11点)

3. 広 報 広報としま(5月11日号)、としま情報スクエア(5月17日)、
図書館通信(春号2月22日原稿締切)、区長放送(5月20日頃締切)
豊島区公式ホームページ・豊島区立図書館公式ホームページ(5月1日～)
報道発表(6月5日、6月20日) 掲載紙、豊島新聞(6月12日、19日、)
としま scope6月(展示)、としま scope フェイスブック

4. チラシ 10,000部印刷
区立図書館、区内大学図書館、都立中央・多摩図書館ほか近隣公立図書館、国際アート・カルチャー大使通信に同封(4月)、トキワ荘寄付金感謝状贈呈式で配布、図書館通信配付先ほか

里中満智子氏特別講演会アンケート感想(一部抜粋)

1	<p>里中先生の話がスムーズで分かりやすく、90分があっという間でした。情熱が新しい世界を切りひらいていく、日本は先輩の真似ではなくオリジナリティーを迫及した結果、深みのある世界が造られた。それが世界の感性をゆさぶっている、というお話に納得しました。</p>
2	<p>子供の頃よく里中満智子氏のマンガをみて育ちました。妹も大好きでよくマンガをよんだりしました。中でもアリエスの乙女たちが大好きでした。</p> <p>里中満智子氏がみたくて今日きました。お会いできてとてもうれしかったです。今日は楽しい時間をすごすことができありがとうございました。マンガが大好きでした。今日は話をきいてとても良かったです。</p>
3	<p>里中先生は、1番大好きなマンガ家さんなので、図書館のイベントで行ってもらえて本当に嬉しいです。昔からマンガが大好きで、大人になってもいろいろ読み、子どもの頃とはまた違った解釈等楽しみ方をしている日々ですが、今日のお話をきいて、もっともっと読もうと思いました。丁度今朝アトムのアニメを観ていたんで、アトムの悲しみとかを考えていたさなかに今日の話でした。同じ事を(里中先生と)考えていたなんて!!と、とってもテンションは上がってしまいました。</p>
4	<p>ずっとファンだった里中先生から大変興味深いお話をうかがい、感動しました。日本のマンガがなぜ世界に誇れるものになっていったかが具体的にわかり、目からウロコが落ちる思いでした。</p> <p>手塚作品に感銘された里中先生の作品も、その薫陶を受け、正義や楽しみだけではなく、人間の弱い部分、悪い部分も描かれていることに納得し、またそれが独特の魅力になっているのだと思いました。ぜひ、またお話をうかがいたいです。ありがとうございました。</p>
5	<p>いろいろな話がきけて先生の人柄もふれて感動した。豊島区の小中学校で里中先生が言っていたマンガ作りを義務教育にして、「さすが豊島区の子はマンガリテラシーが高い」と言われるようにしてほしいと思いました。</p>
6	<p>楽しかったです。大満足。雨の中、足を運んで良かったです。</p> <p>子供の頃、マンガはこんなに面白いのに、大人(親)は何で興味がないのだろう、マンガばかり読んでちゃダメと言われんだろうと思っていたものですが、ゲームに夢中の子供たちが理解できないのはかつての大人たちと同じですかね。とりあえず、マンガのひとコマひとコマをじっくり眺めてみます。</p>
7	<p>アメコミと日本の漫画との違い、この講演会のテーマでもある、日本のマンガがなぜ世界に広まったかが理解できました。時折笑いを交えながらの楽しくわかりやすい講演でした。漫画が他の芸術と違って能動的であるということ、キャラクター全員に感情移入できるということ、子供の心を育てるという意味でも多くの人に触れてほしい日本の誇れる文化だと思います。</p>
8	<p>まんがの力はすごいです。最近のドラマ、映画はほとんどが原作がまんがです。最後の質問で、桃太郎の物語を主人公以外の人を主人公にした独自の物語を書いてほしいというご意見に驚きました。私は人魚姫の最後の終わり方があまりにも悲しくて、その後の物語を書いたことを思い出しました。</p> <p>手話について。手話の方二人のお仕事ぶりに感動致しました。</p>
9	<p>憧れの里中先生の講演会、夢のようです。当選ラッキーでありがたく思っております。時間をおしても質問にお答えいただいたり、お話がどこを切りとって面白い。私がファンになって40年以上ほど経過していますが、その頃からのイメージ通り力強い女性のパワーを感じました。そして雑誌で拝見していた時のままのようなお美しさで!</p> <p>NHKの大河の「天上の虹」少しでも実現されるように声をあげようと思います。先日新聞で中西先生との対談拝見しました。楽しみが一つ増えました。</p>
10	<p>子どもの頃楽しませて頂いた作品を描かれた里中先生に初めてお目にかかり、お話を聞かせて頂く事ができて、今日は本当に幸せなひと時でした。里中節健在!楽しくも深いお話に惹きこまれ、時間があっという間に過ぎてしまいました。またぜひ、お話を聞ける機会があるとうれしいです。最近の作品は読んでいませんでしたが、これを機に手に取ってみたいと思います。今日は本当にありがとうございました。</p>

POP

で表現！ 私に響いたこの一冊

ゾツとした本

人気シリーズ「響いた」講座、今回は「ゾツとした本」です！
お気に入りの1冊の書評とポップを作ってみませんか？

夏です！紹介したい「ゾツとした本」をお持ちください。

第1回では、まず講義で書評とポップの書き方のレクチャーを受けます。お気に入りの本のどこが心に響いたのか、グループで話し合い、書評のキーとなるフレーズを考えましょう。その後、講師によるライブ書評添削を行います。

第2回では、作品を紹介するポップを作成します。ポップは、中央図書館特集コーナーで展示します！あなたも図書館製作チームの一員になりませんか？

本が好きな人、本について熱く語りたい人はぜひお集まりください！



これまで開催した
展示・講座の様子



日時 第1回 7月13日(土) 午後3時～5時
第2回 7月20日(土) 午後3時～5時

講師 書評家、人類学者、立教大学・大正大学等非常勤講師
佐藤 壮広 (さとう たけひろ) 先生

場所 豊島区立中央図書館 5階会議室

定員 申込先着20名

受講料 1,000円(高校生以下500円)

※初回にいただきます。

申込 6月11日(火)午前10時より受付開始

氏名・住所・連絡先(電話番号とメールアドレス)を明記の上、電話、FAX、メール、直接来館のいずれかの方法で下記担当までお申し込みください。

担当 豊島区立中央図書館 企画調整グループ

電話:03-3983-7861

FAX:03-3983-9904

メール:A0027900@city.toshima.lg.jp

FAX 03-3983-9904

6月11日(火)午前10時より受付開始!

★窓口(直接来館)・・・午前10時から午後5時まで受付

申込日: 月 日

書評講座 POP で表現! 私に響いたこの一冊 ソツとした本編 申 込 書		
振り仮名		
お名前		
ご住所	〒	
本講座をお知りになったきっかけ	広報としま・図書館HP・区公式HP・チラシ・その他()	
緊急時連絡先	TEL	
	FAX	
	E-mail	
事務欄	電話 or 窓口 or FAX	処理番号



※ご記入いただいた個人情報は、本講座の運営及び緊急連絡にのみ使用いたします。

作成いただいたポップの展示期間は、7月27日(土)～8月22日(木)です。

令和元年度地域研究ゼミナール企画案

1. テーマ 「映画の街」豊島区～花盛りから受難までの変遷～
2. 背景 2020年7月にグランドオープンする Hareza 池袋のハレザタワーには、10スクリーン・約1700席の大規模シネマコンプレックスが誕生する。豊島区の映画文化について情報発信の好機である。
3. 目的 豊島区内には、かつて映画撮影所が巣鴨にあり（河合映画その後の大都映画）、小林商会の池袋影所（場所不明）というものもあった。大正5年に天祖神社前に建てられた「オヤマ館」が区内最初の映画館。昭和初期から映画館は増え始め、昭和34年頃には38館が営業し、大衆文化の熱気であふれていた。この頃トキワ荘のマンガ家たちも、ことあるごとに映画館に通い、創作のヒントにしていたと語られている。時代の変遷で変わりゆく豊島区の映画文化について地域研究のテーマとして取り上げる。
4. 講師候補 伊藤暢直氏（豊島区教育委員会教育部庶務課学芸員）
旗氏（池袋東口日勝）
伊部氏（西口シネマロサ）
青木滋氏（目白白鳥座・西武写真印刷(株)社長）
5. 日程 令和2年1月25日（土）、2月1日（土）
6. 会場 豊島区立中中央図書館会議室またはあうるすぽっと会議室 B
7. 定員 40名程度
8. 受講料 500円
9. 広報・募集 図書館・ホームページで12月初旬から周知し募集する。

終生、アジア、中国の窮状に身を挺し
自らの生涯を捧げた

みやざき とうてん

宮崎 滔天を知る！

1871年、熊本で生まれた宮崎滔天は、
兄の影響でアジア主義に目覚め、犬養毅の紹介で外務省から
中国革命運動調査のため中国に渡りました。
帰国後は孫文を援助、生涯の友となったのです。
明治38年には中国革命同盟会結成に協力して、
全権委員となった滔天は辛亥革命に協力、目白を終の棲家とし、
アジアを舞台に波乱の生涯を送りました。
今回、まちづくりフォーラムの会場にて宮崎家から
お借りした資料を含めてパネル展示を行います。
ぜひ、この機会に宮崎滔天の生涯に触れてください。



宮崎 滔天展

開催日時：令和元年 10月5日（土）10時開場～17時終了 開催会場：デサント東京本社 1階椿ホール

目白のまちに関心のある皆様はふるってご来場下さい！

目白まちづくりフォーラム開催

開催日時：令和元年 10月5日（土）10時開場～17時終了

開催会場：デサント東京本社 1階椿ホール

学習院椿の坂より入る

開催内容（内容、出演者等が変更になる場合があります。ご了承下さい。）

● **フォーラム 13:00～15:30**

目白地域協議会からの報告「エレベーター着工」など
鼎談「宮崎滔天を知る！（仮題）」

ゲスト：宮崎 黄石氏（宮崎滔天曾孫）

● **展示 10:00～17:00**

「宮崎滔天を知る！」 資料提供・宮崎家 協力・目白新聞

九州で作秋に開催された宮崎滔天展示の資料を中心に紹介します。

目白地域協議会からの報告パネル、目白周辺の古地図と今昔写真展

目白駅の歴史パネル展示・目白「銀鈴の塔」詳細展示 予定

入場無料



以前開催したフォーラムの様子



東アジア文化都市 2019豊島
Culture City of East Asia 2019 Toshima

はらはら、ときどき、文化がいっぱい。

主催：目白まちづくり倶楽部 後援：豊島区 / 目白地域協議会 協力：目白新聞

連絡先：目白まちづくり倶楽部 Fax:03-5982-3706 E-mail:mejimachi@gmail.com

本活動と印刷物は東アジア文化都市 2019 豊島パートナーシップ事業の助成を受けて進められました